



ANNUAL REPORT 2018

業務のご案内



皿倉山ケーブルカー



緑が美しいさわらび通り



あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

〒805-8520 北九州市八幡東区尾倉2-8-1
TEL 093-661-2311 (代表)

■ ホームページアドレス
<http://www.fukuokahibiki.co.jp/>

■ テレホンバンキングサービス
フリーダイヤル 0120-842-506



あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

当金庫の概要

(平成30年3月31日現在)

設 立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出 資 金	34億60百万円
会 員 数	72,955人
役 職 員 数	607人
店 舗 数	47店舗 (代理店1店舗を含む)
営 業 区 域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



経営理念

1. 地域社会の繁栄ある未来を希い、地域とともに歩みます。(地域繁栄、金庫共栄)
2. 健全経営と独自性発揮で、お取引先の要請に応えます。(健全経営、独自性発揮)
3. 知性を磨き、創意と工夫をもって活力ある信用金庫を築きます。(知性と創意で活力金庫)

基本方針

1. 地域の人々の幸福と繁栄を希い、地域の豊かな未来づくりを使命とします。
2. 健全経営をモットーに、お客様のニーズに素早く対応し信頼される金庫にします。
3. 日々、豊かな人間性の向上に努め、活力ある職場と職員の豊かな生活の実現に努めます。



C O N T E N T S

ごあいさつ	1	主な手数料一覧表	18
業績トピックス	2	店舗のご案内	20
地域社会とひびしん	4	リスク管理の体制	22
沿革	5	法令遵守(コンプライアンス)の体制	24
役員・組織図	6	金融ADR制度への対応・主要な事業の種類	25
中小企業の経営支援に関する取組み	7	信金中央金庫のご紹介	26
地域活性化に対する取組み	10	資料編	27
総代会等に関する事項	13	※「資料編」の目次は27ページに掲載しております。	
商品等のご案内	15	開示項目一覧	61

ごあいさつ



理事長
野村 廣美

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。

本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2018 業務のご案内」を作成致しました。当金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、当金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

平成29年度の日本経済は景気回復基調が続き、当金庫のお取引先である中小零細企業においても、その好影響を享受する企業も増加しました。ただし経営者の高齢化と後継者不在、また人口減少や少子高齢化の影響により、中小零細企業は引き続き厳しい経営環境に置かれているといえます。

このような経済環境を背景に、平成29年度は中期経営計画“創造への挑戦”～独自性発揮による価値の創造～「地域・顧客・金庫の“価値の創造”」の最終ステージの年として、地域の活性化につながる施策に継続して取り組んでまいりました。

その結果、平成29年度の当金庫の業績は経常収益13,082百万円（対前期比2.5%増）、経常費用11,400百万円（対前期比3.2%増）、経常利益1,682百万円（対前期比1.6%減）、当期純利益1,604百万円（対前期比8.5%減）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る11.86%、不良債権比率は3.79%となりました。

これも偏に、会員の皆様方の平素よりのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

今後も、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月28日

理事長 野村 廣美

業績トピックス

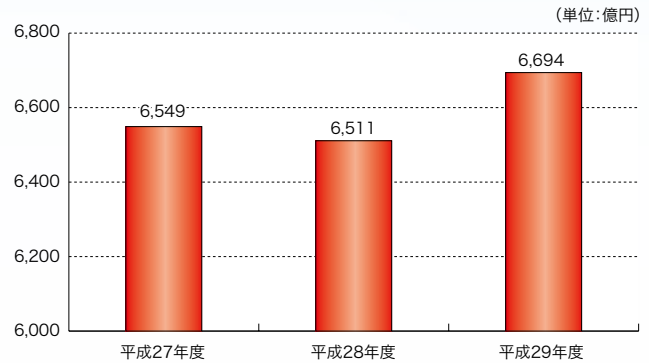
預金積金の推移

平成29年度は、夏期・冬期のキャンペーンとして、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売しました。退職祝定期預金の減少分をカバーし、定期預金は41億円の増加となりました。

また、要求性預金、定期積金も前期比で増加となりました。

その結果、平成29年度の預金積金残高は前年比182億円増加し、6,694億円となりました。

預金積金残高 **6,694億円**



貸出金の推移

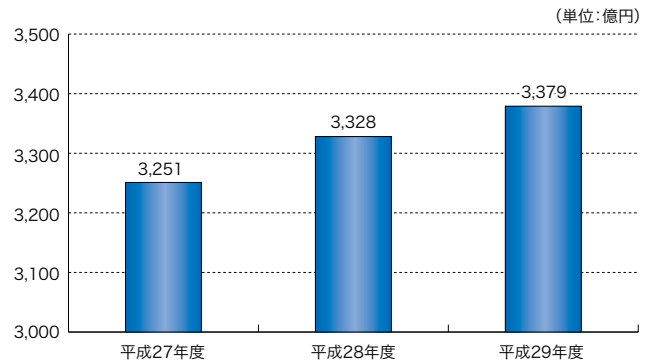
平成29年度は、事業性融資と消費者ローンの拡大を重点施策に掲げ推進してまいりました。

建設業・製造業の運転資金の需要増加が追い風となり、事業性融資は41億円増加しました。

また個人向け融資も、住宅ローン・消費者ローン共に前期比増加となりました。

その結果、貸出金残高は前期比50億円増加の3,379億円となりました。

貸出金残高 **3,379億円**



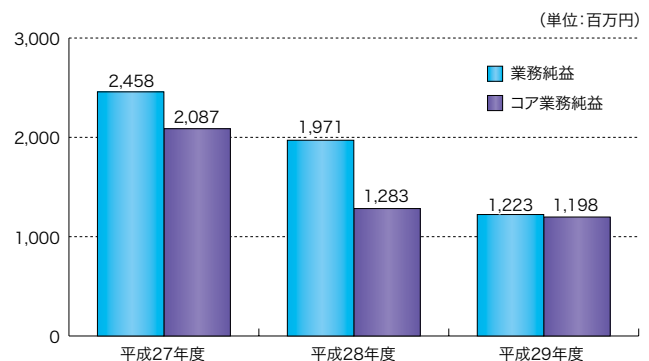
業務純益*1/コア業務純益*2の推移

国債等債券関係損益の減少や一般貸倒引当金繰入額の増加等により業務純益は748百万円減少し、1,223百万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益については、前年比85百万円減少の1,198百万円となりました。

業務純益 **1,223百万円**

コア業務純益 **1,198百万円**



*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

業績トピックス

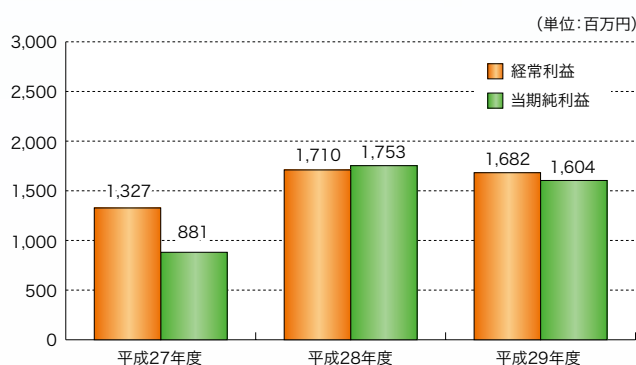
経常利益/当期純利益の推移

株式等売却益の増加等により臨時収益が増加した一方、国債等債券償還損等の業務費用が増加したため、平成29年度の経常利益は前年比27百万円減少し、1,682百万円となりました。

この結果、当期純利益は前年比148百万円減少の1,604百万円となりました。

経常利益 1,682百万円

当期純利益 1,604百万円



単体自己資本比率

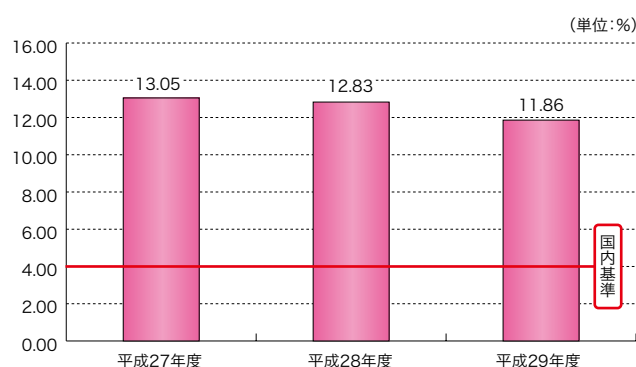
当金庫の平成29年度の単体自己資本比率は11.86%となりました。

国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、パーゼルIII基準により自己資本比率を算出しております。

→ 詳細は、51ページに記載しています。

自己資本比率 11.86%



不良債権比率

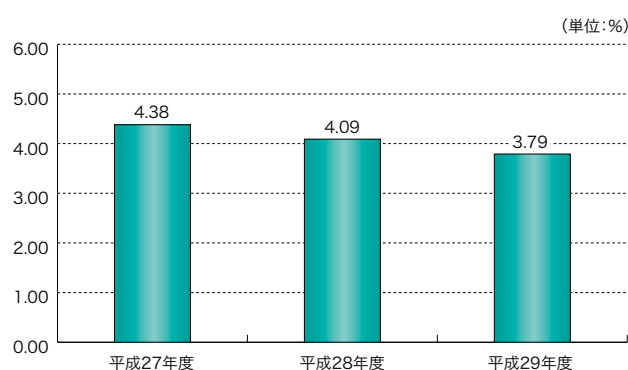
平成29年度の金融再生法に基づく不良債権額は、前年比8億13百万円減少し、128億53百万円となりました。

この結果、当金庫の不良債権比率は前年比0.30ポイント低下し、3.79%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引き続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

→ 詳細は、39ページに記載しています。

不良債権比率 3.79%



地域社会とひびしん

当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預りした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任（CSR）を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



■有価証券 2,757億円

お預りしている資金の一部は、有価証券等で運用しております。運用にあたっては、適切なリスク管理のもと、安全な運用に努めております。

平成30年3月31日現在

沿革

大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」（現・ひびしん同友会）発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」（現・福岡ひびき経営大学）第1期講座開講
平成2年	4月	「八信ニューリーダー会」（現・ひびしんニューリーダー会）発足
平成6年	1月	「はっしん経営者賞」（現・福岡ひびき経営者賞）創設
平成13年	4月	「イングスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生（理事長 古川育史 就任）
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との二金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代の定数を150名に変更 ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催 木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施 当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結
平成26年	2月	創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催 葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
	12月	折尾支店新装オープン
平成27年	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
	10月	「ひびしんプラザwest」を折尾支店内にオープン
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松出張所閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新規開設
	5月	当金庫と磐田信用金庫の二金庫間で業務連携協定を締結



築上町支店

中小企業の経営支援に関する取組み

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

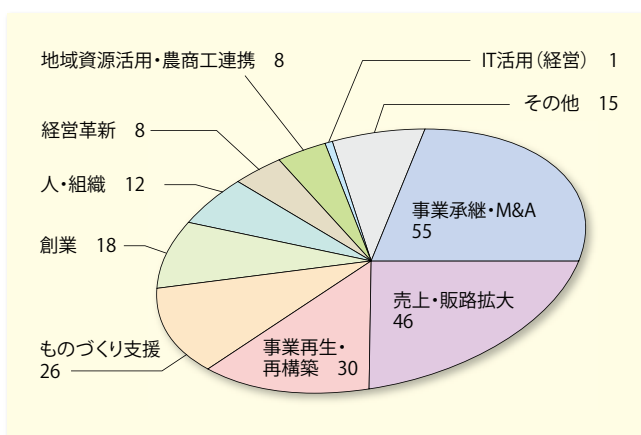
当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。この支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し企業の実態に合った支援を適切に行うように努めます。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、国の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」による専門家派遣制度の活用、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センターとの連携により課題解決のお手伝いを致しました。

平成29年度 支援課題別集計

支援課題	先 数	
	件数	構成比
事業承継・M&A	55	25.1%
売上・販路拡大	46	21.0%
事業再生・再構築	30	13.7%
ものづくり支援	26	11.9%
創業	18	8.2%
人・組織	12	5.5%
経営革新	8	3.7%
地域資源活用・農商工連携	8	3.7%
IT活用(経営)	1	0.5%
その他	15	6.8%
合計	219	100%



● 創業・新規事業開拓の支援

【ひびしん女性創業塾】

平成30年1月から2月の土曜日5日間コースで9回目となる「ひびしん女性創業塾」を開催し、30名の方が受講されました。この「ひびしん女性創業塾」は地域金融機関として、創業・起業を目指すやる気のある女性の創業支援を通じて、地域経済・産業の活性化、新規雇用の創出を図ることを目的としています。過去9回の開催で297名が受講し、様々な業種で57名の方が創業されました。

このほか受講後のフォローのため創業相談会なども開催、創業に向けた実務的な支援も積極的に取り組みます。



■ 女性創業塾受講生の創業状況 (平成30年3月31日現在)

(単位: 名)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	1~9期計
受講者 (a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	297
受講時点で既に創業済み (b)	7	2	6	3	4	7	5	4	6	44
受講後創業 (c)	11	11	9	5	6	8	5	1	1	57
創業率 (c / (a - b) x 100)	31.4%	33.3%	27.3%	20.0%	23.1%	27.6%	18.5%	4.8%	4.2%	22.5%

● 成長段階における支援

【第4回しんきん合同商談会】

平成29年10月25日(水) マリンメッセ福岡において、九州北部3県(福岡県、佐賀県、長崎県)の13信用金庫の力を結集した「第4回しんきん合同商談会～中小企業による商売繁盛の祭典～」を開催いたしました。

出展企業382社、バイヤー・応援企業34社、熊本復興支援事業者20社の合計436社が出展、当日は過去最高の6,400名にご来場頂きました。商談総件数は9,791件(うち成約件数503件)となりました。



	商談件数	商談成約件数・成約率・継続件数			
		成約件数(見込)	成約率	継続件数	
出展商談会	9,570件 (8,574件)	1,390件 (2,023件)	428件 (618件)	4.5% (7.2%)	962件 (1,405件)
特別商談会 (バイヤー企業)	221件 (274件)	188件 (242件)	75件 (62件)	33.9% (22.6%)	113件 (180件)
合計	9,791件 (8,848件)	1,578件 (2,265件)	503件 (680件)	5.1% (7.7%)	1,075件 (1,585件)

出展企業335社・団体のアンケート回答をもとに集計
計数のカッコ内の数字は前回(第3回)の実績

● 福岡県よろず支援拠点との連携

福岡県よろず支援拠点と連携し、豊前支店および築上町支店による経営相談窓口を設置しました。

豊前支店および築上町支店に常設した経営相談窓口のPCよりテレビ電話システムを通じて福岡市にある福岡県よろず支援拠点にいるコーディネーター(相談員)に無料で相談することができます。

36名のコンサルタントに無料で相談できる！
豊前支店・築上町支店・福岡県よろず支援拠点が毎日つながります！

創業希望者・個人事業主・中小企業のための経営相談窓口です

インターネットを通して

福岡県よろず支援拠点へ

テレビ電話に約かかって話しけるだけ！ わずかしい条件は創業ありません！
ホームページ・チラシ・Facebook・LINE等・WEB広告での宣伝、販路開拓、融資案内、関係構築、店舗運営、資金調達、事業計画、労務、法律、税務、契約等の相談。36名の専門家にはもちろん相談が無料でおこなわれます。

お気軽にご相談ください。全力でサポートします！

豊前支店・築上町支店・福岡県よろず支援拠点に所属する支援員が揃って対応する経営相談窓口です

【受付時間】 09:30～16:30 ①10:45～11:45 ②13:00～14:00 ③14:15～15:15 ④15:30～16:30

【相談先】 福岡県よろず支援拠点 築上町支店 (福岡県上野原市大字大野原66-1)

【TEL】 福岡県よろず支援拠点 ☎092-622-7809(事務予約制)

詳しくはホームページをご覧ください

福岡県よろず支援拠点

メンバー紹介

福岡県よろず支援拠点

https://yoroze.biz

● JICA九州との連携

当金庫と国際協力機構（JICA）は平成29年10月31日、「業務提携・協力に関する覚書」を締結しました。この締結は、日本の技術支援により途上国の開発課題の解決を目指すJICAと、優れた技術・製品を有する地元中小企業の海外展開に対する支援強化を図る当金庫が連携・協力することによって、双方の取組みの充実と促進に資することを目的としています。また、11月28日には海外進出セミナーを共催しました。



調印式



共催セミナー

● 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

経営改善・事業再生・業種転換等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

【経営改善支援の取組み実績】（平成29年4月～平成30年3月）

（単位：先）

債務者区分	期初債務者数	うち 経営改善支援 取組み先 α	α のうち期末に債務者 区分がランクアップし た先数 β	α のうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先数 γ	α のうち再生計画を 策定した先数 δ
正常先 ①	6,195	0		0	0
要注意先	うちその他要注意先②	1,644	5	185	198
	うち要管理先③	11	0	8	11
破綻懸念先 ④	161	2	0	2	2
実質破綻先 ⑤	149	7	0	7	7
破綻先 ⑥	37	0	0	0	0
小計（②～⑥の計）	2,002	219	5	202	218
合計	8,197	219	5	202	218

（注）期初債務者数及び債務者区分は平成29年4月の期初時点で集計しております。

債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。

金融円滑化に関する基本方針

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、全役職員が協働して以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に積極的に取り組んでいます。

記

1. 当金庫は、経営理念である地域社会の繁栄に貢献するため、コンサルティング機能を十分に発揮して、お客さまの経営改善につながる支援を継続してまいります。
2. 当金庫は、お客さまそれぞれの課題に応じた最適な解決策を、お客さまの立場に立ってご提案し、実行支援することに積極的に取り組んでまいります。
3. 当金庫は、必要に応じて外部専門家や外部専門機関等と連携を図りながら、貸付条件の変更等資金供給に努めてまいります。

以上

お客様からの新規ご融資やお借入条件の変更等に関するご相談等は、各営業店または本部の「金融円滑化相談窓口」をご利用ください。

●本部の「金融円滑化相談窓口」連絡先

融資部 融資企画グループ TEL 093-661-2412

（受付時間 平日9:00～17:00 土・日・祝日・年末年始を除きます）